

公の施設の指定管理者管理運営状況評価結果

1. 基本情報

(1)管理施設

施設名	高ヶ坂学童保育クラブ		
施設概要	【所在地】 町田市南大谷1260(町田第六小学校敷地内) 【開設年月】 1969年 【開所日時】 月曜日～土曜日/8時～19時 【建物面積】 延床面積137.11㎡ 【建物構造】 軽量鉄骨造 平屋建て 【児童数】 90名(2023年4月1日時点)		
設置目的	小学校に就学している児童で家庭において、保護者の適切な保護を受けられない者に対して組織的に指導を行い、もって学童の事故防止と心身の健全な育成を図るため		
設置根拠法令・条例	児童福祉法、町田市学童保育クラブ設置条例		
所管部課	子ども生活部児童青少年課	問合せ先	042-724-2182
施設ホームページURL	https://www.machida-syakyo.or.jp/jigyo/j3-shokai.html		

(2)指定管理者

指定管理者名	社会福祉法人 町田市社会福祉協議会	法人番号	2012305000201
指定管理者所在地	町田市原町田4-9-8		
指定期間	2020年4月1日～2025年3月31日		
指定管理業務の内容	(1)クラブに入会した学童の保育に関する業務・・・余暇・生活・学習・安全指導、おやつの提供等 (2)クラブに入会した学童の特別保育に関する業務・・・特別保育の利用承認、賦課及び徴収等 (3)管理施設及び設備の維持管理に関する業務・・・施設の保守・管理、修繕等 (4)前各号に規定したもののほか、市長が指定した業務・・・市への報告業務、利用者アンケートの実施等		
利用料金制	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 併用 <input type="checkbox"/> 非該当	選考方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募

2. 選定時の提案内容

提案内容(目標値など)	達成時期	達成状況
様々な体験活動を行う	通年	<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通して季節の行事、制作活動を行った。季節の行事では、4年生以上が「高学年会議」を持ち、企画・ゲームを実施した。季節の制作では、廃材を使った制作を行った。子どもたちの自主性・創造性を養い、エコ意識向上に繋がった。また、SDGs「つくる責任、つかう責任」の意識に繋がった。 ・外部の方々との交流を行い、関係機関や地域の方々との連携強化に繋がった。(保護者参加行事、交通安全教室、移動防災教室、認知症についての紙芝居読み聞かせ、出張駄菓子屋、近隣の特別養護老人ホーム利用者の方々との交流、地域行事や祭りへの参加) ・生き物・植物の飼育・栽培を行った。
職員の質の向上を図る	通年	<ul style="list-style-type: none"> ・研修は年間目標である11回を達成した。 ・職員会議やミーティングで特別な支援が必要な子どもについて検証を行い、子どもの見方を深めた。 ・療育センターに巡回相談を依頼し、受けたアドバイスを保育に取り入れた。 ・町田市の学童保育クラブ巡回アドバイザーを活用し、子どもの安全管理体制、また、子どもの発達段階や特性に応じた遊びや生活に関するアドバイス・指導等を受けた。 ・人事考課制度を実施し人材育成の強化を図り、職員の質の向上に繋がった。 ・臨時職員も研修に積極的に参加し知識を深めたり、施設長との面談を実施し意識向上に繋がったりした。 ・職場研修計画に基づき、法人独自の研修に力を入れた。また「自己評価表」や「個人の課題への取り組み計画・評価表」を用いて、施設内でのOJTにも力を入れたことで、一人ひとりの意識が高まり個々の保育への質の向上に繋がった。 ・階層別研修を法人内で実施し、職員のスキルアップを図った。
安全管理に努める	通年	<ul style="list-style-type: none"> ・夕方、室内で遊んでいる時の玄関の施錠を徹底し、防犯対策を行った。 ・日頃から職員ミーティングや会議でヒヤリハットを挙げ検証、予防策を講じた。 ・ICTシステムを活用し、子どもの登降所時間を確認するとともに保護者へも通知し、子どもの安全管理に努めた。 ・火災、地震、不審者避難訓練を実施し、まちとも合同避難訓練を行い安全管理の共有に努めた。 ・町田警察署に依頼して不審者対策訓練を実施した。不審者への対応方法を学び防犯対策の強化に努めた。

3. 昨年度の課題

内容	特になし
----	------

【評価対象年度 2023年度】

4. 総合評価及び所見

総合評価	A	【総合評価基準】 A:良好である B:要求水準達成 C:良好ではない D:大きな課題がある S:Aのうち実施内容が特に優れている
所管課総合所見(特筆すべき点(Sの場合必須)、提案内容の実現状況、昨年度の課題への対応等)	<p>利用者満足度調査について、全体満足度についてはA評価の基準を超える95%以上、サービス・施設管理面については目標値である96%には届かなかったものの、94.5%の満足度を得られていることから、高いサービスを提供していると判断できる。</p> <p>利用者満足度調査回収率は90%を超えており、利用者意見の収集に対する取り組み成果がうかがえる。研修の平均受講回数はA評価の基準を超える15.8回であり、積極的に職員の能力向上に取り組んでいると判断できる。</p> <p>業務履行状況・財務状況は全項目「適」と要求水準を満たす運営を行っていた。</p> <p>以上のことから、総合評価を「A」とした。</p>	
指定管理者所見(補足説明・アピール・未達成項目の改善策等)	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの意見を多く取り入れた行事や保育、アットホームな雰囲気を中心としたことから、「子どもが楽しそうに学童に通えている」という意見を多くいただいた。 ・個人面談を実施し、学童での過ごし方や友達関係などを細かく伝え、保護者にも安心できる環境を整えた。 ・子どもの見守りに関しては学校、まちとも、学童で話し合いを行った。地震対策避難訓練を実施し、緊急災害時における協力体制を気づいた。 ・FC町田ゼルビアを呼び親子参加型行事を行った。また、警察署・消防署の方を呼び「交通安全教室」「移動防災教室」を行った。地域団体交流においては、町田市つながりの開が運営する地域密着型通所介護事業所「DAYS BLG!」の利用者の方々にクラブに来てもらい、認知症についての紙芝居読み聞かせ、出張駄菓子屋さんを実施した。また、近隣の特別養護老人ホーム「ひかり苑」へ子どもたちの作った年賀状を届ける等、地域の方々との交流を行っていた。祖父母・孫と同居していない子どもたち・利用者の方々にとってかけがえのない時間になった。 	

【評価対象年度 2023年度】

5. サービスの質に関する評価

【利用者アンケート調査】

調査概要	【調査期間】2023年12月1日～12月28日(28日間) 【登録児童数】80名(調査月1日時点) 【配布枚数】80枚 【回答数】74枚 【回収率】92.5% 【調査方法】アンケート用紙の配付、「コドモン」のアンケート機能での回答
------	---

指標1	評価基準	目標	結果	評価	
利用者満足度 (全体満足度)	(全体満足度の項目において、満足・やや満足とつけた保護者割合) A: 90%以上 B: 75%以上～90%未満 C: 75%未満	96%	98.6%	A	
指定期間内における実績(単位: %)					
年度	2020	2021	2022	2023	2024
目標値	93	94	95	96	96
実績値	100.0	97.4	98.4	98.6	

指標2	評価基準	目標	結果	評価	
利用者満足度 (サービス・施設管理面)	(サービス、施設管理面等の9項目において、満足・やや満足とつけた保護者割合の平均) A: 95%以上 B: 75%以上～95%未満 C: 75%未満	96%	94.5%	B	
指定期間内における実績(単位: %)					
年度	2020	2021	2022	2023	2024
目標値	93	94	95	96	96
実績値	92.4	92.9	96.5	94.5	

指標3	評価基準	目標	結果	評価	
研修参加回数	(常勤職員の市及びその他関係機関主催研修会回数の平均) A: 10回以上 B: 2回以上10回未満 C: 2回未満	11回	15.8回	A	
指定期間内における実績(単位: 回)					
年度	2020	2021	2022	2023	2024
目標値	11	11	11	11	11
実績値	11.0	15.0	16.0	15.8	

サービスの質に関する総合評価	所管課所見
A	利用者満足度においてB評価の基準を超える75%以上の保護者が「満足」または「やや満足」と回答しており満足度は要求水準に達していた。保護者からも一定以上の満足度を得られていることから、適正な運営が行われていると判断できる。アンケート回収率は90%を超えており、利用者意見の聴取に積極的に取り組んでいたと判断できる。研修の平均受講回数は15.8回とA評価の基準を超えており、積極的に職員の能力向上に取り組んでいると判断できる。町田市主催研修に参加するだけでなく、運営法人やクラブ内研修等を積極的に実施していることも評価できる。

【サービスの質に関する評価基準】 A: 良好である B: 要求水準達成 C: 良好ではない

【評価対象年度 2023年度】

6. 業務履行状況の確認

(1) 指定管理業務の履行状況の確認

大項目	小項目	要求水準	履行状況	適否
平等利用の確保	保護者・利用者への平等な取扱い	保護者・利用者への平等な取扱いの実施	保護者・利用者への平等な取扱いを「学童保育クラブ入会のおしおり」及び「児童ケース記録」等で確認した。	適
	保護者への情報提供	お便りや広報誌の配布又はHP・メール配信等での情報発信	保護者へ適切に情報提供をしていることを「おたより」等で確認した。	適
施設の運営方針・管理	運営方針・指導計画・年間指導計画に基づく保育の実施	事業計画に基づく事業の実施	事業を適切に実施していることを「年間計画」及び「実施報告書」で確認した。	適
	市への報告書類の提出	例月、学期の報告書類の提出	「育成日誌」及び「育成記録」を、各期日までに適切に提出していたことを確認した。	適
	施設の点検・保全	業務仕様書に定める頻度での点検実施	適切に点検を実施していることを「職場巡視点検票」等で確認した。	適
情報公開・個人情報保護	個人情報保護体制の整備	個人情報保護体制の整備	個人情報保護体制が整備されていることを法人の「個人情報保護規程」等で確認した。	適
	書類保管	個人情報の適切な管理(施錠された書棚での保存等)	個人情報が記載された書類が、施設内の鍵付き書庫等で適切に保管されていることを目視で確認した。	適
	情報公開体制の整備	情報公開体制の整備	情報公開体制が整備されていることを「情報公開規程」で確認した。	適
要望対応	要望対応体制の整備	要望対応体制の構築	苦情対応の体制が構築されていることを法人の「苦情解決に関する規程」等で確認した。	適
	要望窓口の周知	意見・要望を受け付ける窓口の周知、意見箱の設置等	苦情受付窓口が掲示板等で周知され、施設内に意見箱が設置されていることを目視で確認した。	適
危機管理	緊急時・災害時に備えた体制の整備	緊急時・災害時対応体制の整備	緊急時・災害時対応手順が整備されていることを法人の「学童保育クラブにおける救急対応マニュアル」等で確認した。	適
	避難訓練の実施	火災、地震、防犯に関する訓練を年2回以上、交通安全に関する訓練を年1回以上実施。	火災、地震、防犯に関する訓練を年2回以上、交通安全に関する訓練を年1回以上実施していたことを「事業報告書」で確認した。	適
	子どもの病気や事故に対する備え	病気や事故に対する対応手順の整備	病気や事故に対する対応手順が整備されていることを「学童保育クラブ感染症予防・対策マニュアル」等で確認した。	適
人的安定性	職員の適切な配置	業務仕様書に基づく配置	適切に職員が配置されていたことを「育成日誌」及び「シフト表」で確認した。	適
	職員研修の実施	年2回以上の職員研修の受講	年2回以上、職員研修を受講していたことを「研修記録」で確認した。	適
管理経費の縮減	計画的な執行	管理経費の適切な執行	関係経費の適切な執行に取り組んでいたことを「事業収支決算書」等で確認した。	適
	管理運営経費の縮減	管理運営経費の削減又は取組み	長期間使用しない家電等のコンセントを抜き、電気使用量を最小限にする等、管理運営経費の削減に取り組んでいたことを目視で確認した。	適
地域貢献	地元への貢献	地元での社会活動等への参加	地元団体と連携した行事等を実施していたことを「事業報告書」等で確認した。	適
	市民雇用	町田市民の雇用	市民雇用率が100.0%であることを「職員調書」で確認した。	適

【評価対象年度 2023年度】

(2)業務実施体制の確認

大項目	小項目	要求水準	モニタリング結果	適否
モニタリング その他	会計・経理モニタリング	会計・経理実施状況チェックシートの全ての確認項目が「適」である。	2024年1月26日に同一法人が管理する木曾学童保育クラブでモニタリングを実施し、総勘定元帳の項目で「不適」であったが、年度中に是正されたことを確認したため「適」とする。	適
	労働条件モニタリング	労働条件チェックシートの全ての確認項目が「適」である。	2024年1月26日に同一法人が管理する木曾学童保育クラブ外4施設でモニタリングを実施し、全ての確認項目で「適」であることを確認した。	適

業務履行状況の確認結果(適否)	所管課所見
適	要求水準を満たしていることを、各種根拠資料、事業報告書、育成日誌、現地調査、ヒアリングにて確認した。

7. 財務・収支状況の確認

(1) 公の施設に係る収支

単位:千円

項目	2020		2021		2022		2023		2024		
	予算	決算									
収入	指定管理料	26,467	24,710	30,065	26,891	35,887	30,907	35,374	31,082	20,377	
	特別育成料	223	272	178	282	310	338	335	455	0	
	雑収入	0	0	0	0	0	0	22	0	0	
	寄附等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	計	26,690	24,982	30,243	27,173	36,197	31,245	35,731	31,537	20,377	0
支出	人件費	21,631	20,131	25,009	21,987	30,292	25,855	30,101	25,716	15,559	
	管理費	657	621	625	516	548	486	772	493	440	
	運営費	322	247	388	288	580	408	531	390	280	
	精算する経費	1,213	429	1,200	706	1,700	677	1,200	755	1,700	
	間接経費	2,867	2,401	3,021	2,753	3,077	2,956	3,127	3,041	2,398	
計	26,690	23,829	30,243	26,250	36,197	30,382	35,731	30,395	20,377	0	
総計(収入-支出)	0	1,153	0	923	0	863	0	1,142	0	0	

(2) 指定管理者本部 ※共同事業体の場合、原則として代表企業を記載する。

単位:%

年度	2020	2021	2022	2023	2024
経常利益率	2.2	3.0	2.8	2.4	
負債比率	85.6	67.3	66.1	67.3	

【経常利益率(%)】経常利益 / 売上高 × 100(小数点以下第2位を四捨五入)

【負債比率(%)】負債(他人資本) / 資本(自己資本) × 100(小数点以下第2位を四捨五入)

財務状況に関する確認結果(適否)	所管課所見
適	決算書により、指定管理業務に関わる収支については黒字となっており、安定した運営を行っていることが確認できた。 また、法人の経常利益率がマイナスになっておらず、負債比率が100%を下回っていることから、今後も適切な施設運営が可能であると考えます。